

三年ぶり鬼城草庵で開催

—東北大鬼城句会—

創会五年、三十回目の東北大鬼城句会が五月二十八日（金）鬼城草庵で開催された。三年ぶりの草庵での句会は、会員八人に加えて地元から七人もの『櫻草』同人が参加され盛大な句会となった。櫻草同人出席者は、岸 季与、坂口青郎、高橋親史、高橋良子、樋口トシ子、福嶋菟火、村上郁子の各氏。

十一時半、東京からの後続組も揃ったところで、谿聲主宰と久しぶりに対面。これは草庵開催の大きな目録でもある。メンバーとすっかり、すっかり握手。そして主宰を真ん中に草庵前で出席者全員が記念撮影。主宰の元氣な姿に接することができたことは、会員みんなの喜びであった。

昼食、懇談の後、正一時に句会開会。青郎さんから歓迎のお言葉があり、当句会幹事の松本貞風さんから進め方を含め挨拶があった。

兼題は、薄貴、繭、蚕、ダービー、海月、石楠花、恋。当季雑詠も可。各人出句五句、投句のみの会員の分を含め八十句の短冊が揃う。清記後女性同人の方の手を

煩わし全員の分をコピーしてもらおう。

選句は六句。選句は何時まで？との質問に対し、幹事の回答は「最後の人が提出するまで」だったので、普段よりじっくり時間をかけた向きも多かったようだ。

如雨が披講を行う。季与さんの「初恋は……」が何度も読みあげられる。この句は結局特選三、佳選六という圧勝。当句会のメンバーもなかなか頑張っている、ナと算用しながら、披講を終える。清記順に句の感想、意見等を述べ合い、皆さんの活発な発言で賑やかな台評となった。強い切れ字「や」の使い方等の勉強もあつて、大変啓発された句会であった。

互選特選句を紹介すると——

初恋はわが胸の中櫻良

季与

絹羽織る繭の命の重さかな

奥山游悅

ダービーや番狂はせは人の世も

トシ子

上州の女工哀史や捨蚕

菟火

チエーンソー唸る里山薄暑かな

小川修人

野菊の墓読み捨てて君シューンプライド

青郎

繭籠る少女覚ひし「銀の匙」

小川修人

蘭字の事始めとぞ海月分け

鈴木蓮圀池

高崎は初めてというメンバーもあり、句会終了後は草庵内の貴重な資料をじっくり拝見。帰りしな思いがけず玄関前にもう一度出て来られた主宰とまた堅い握手。朝から文句なしの「五月晴」（誤用です）の高崎、別れを惜しみつつ東京組は全員で磯部温泉の舌切雀のお宿に向かう。

句会の緊張から解放されて、温泉と若干のアルコールでリフレッシュしたこと言うまでもない。

句会後半月、二年ぶりに谿聲主宰の選がもたらされた。主宰にはいろいろご不自由の中選句していただき感謝申し上げます。

〈特選〉

初恋はわが胸の中櫻貝

季与

沖に向けテナーサクスタ薄暮

奥山游悦

〈佳選〉

ほととぎす恋を託せし万葉歌

平山越庵

ダービーの記憶の中にハイセイコー

良子

石楠花や君に添はんと深山より

平山越庵

蠶棚たて母屋すつかり取られけり

トシ子

峠道繭にまつわる哀史あり

鈴木蓮団池

昔日の蚕の匂ひ残す町

伊東興山

なお、当句会ホームページ

<http://tokyo.cool.ne.jp/hjyou060103/>

に主宰選、互選句の詳細を掲載している。

終りに、村上郁子主宰代行をはじめ『櫻草』同人の皆様には大変お世話になりました。深甚なる謝意を表します。
(岩淵 如雨記)

